

競技上の注意

審判長 柏木 眞子

本大会は、現行の日本卓球ルールに準じて行います。

1 ボール、ラバー、ラケットなどについて

- 1) 1ゲームは11点先取の5ゲーム制(3ゲーム先取)とし、ゲーム間の休憩時間は1分以内とする。なお、タイムアウト制は、準決勝から適用する。
- 2) 団体戦の勝敗は、全て3点先取法で行う。
- 3) 使用球は日本卓球協会公認40mmプラスチックホワイトボールとする。
- 4) ラケット・ラバーは(公財)日本卓球協会指定のものでなければならない。外国製のラケットでJTAAの公認マークがないものを使用する場合は、予め審判長の許可を受けなければならない。ラバーは、JTAAのラバーリストにより公認されているものについて有効とする。
- 5) ゼッケンは平成29年度(公財)日本卓球協会指定のものとする。

2 試合方法について

- 1) 団体戦は、ABC・XYZ方式によるものとし、3～4名でチームを編成する。
- 2) 試合は、4シングル1ダブルス(3番目にダブルス)方式で行う。
- 3) ABC・XYZをトスで決め、下記のオーダー順で試合を行う。

		1番	2番	3番	4番	5番
A	ABC 3名編成	A	B	BC	A	C
B	ABCD 4名編成	A	B	CD	A	C
C						
		対	対	対	対	対
X	XYZ 3名編成	X	Y	XZ	Y	Z
Y	XYZW 4名編成	X	Y	ZW	Y	Z
Z						

4) リーグ戦の試合順序

3チーム(人): 2-3 1-3 1-2

4チーム(人): 2-3 1-4 2-4 1-3 3-4 1-2

- 5) 団体戦・個人戦とも予選リーグを行い、その1位、2位による決勝トーナメントを行う。

3 進行について

- 1) ABC・XYZの選択は、予め両方のオーダーを用意し、対戦するコートでトスにより決定する。
- 2) 審判は、団体戦は相互審判とし、個人戦においては予選リーグは相互審判で行い、決勝トーナメントからは敗者審判とします。なお個人戦決勝トーナメントの第1試合については、試合を行う選手側からの帯同審判をお願いいたします。
- 3) 第1日目及び第2日目の最初の試合は、競技委員長の指示により一斉に開始する。
- 4) 進行の都合で、試合の予定のコートや時間を変更することがありますので、場内放送に従って試合を行ってください。

4 表彰について

決勝トーナメント3位(ベスト4)までのチーム及び選手に、賞状とメダルを授与します。